

PFUテクノワイズ 株式会社

◎ 事業所概要

企業名: PFUテクノワイズ 株式会社
代表者氏名: 代表取締役社長 ^{いしだ さとし} 石田 敏
所在地: かほく市
業 種: 製造業 (IT関連機器の設計、製造、販売)
労働者数: 204人



◎ 行動計画

- 1 計画期間 平成26年4月21日～平成29年4月20日
- 2 内容
 - 目標1: 計画期間内に、育児休業の取得状況を、次の水準以上にする。
 - 男性社員・・・計画期間内に1人以上取得すること
 - 女性社員・・・取得率を90%以上とすること
 - ・育児休職を取得しやすい職場づくりを推進する
 - ・子供が生まれた男性社員に対し、育児休職取得を促進する
 - 目標2: 次世代支援に関する制度の拡充および利用促進
 - ・ホームページを活用し、社内への情報提供による啓発活動を実践する
 - ・職場ヒヤリングにおける、実効性の高い制度見直しを検討/実施する
 - 目標3: 労働時間の適正化および休暇取得促進
 - ・総労働時間短縮を目的として、労働時間(時間外勤務状況)の分析や実効性のある施策を検討/実施する
 - ・定時退社日の運用を継続し、メリハリのある働き方を推進する

◎ 目標達成の状況

- 目標1
- ・自社の独自休暇制度や自社の男性社員が育児休業を取得した事例を掲載した資料を事業所掲示板及び社内イントラに掲示し、労働者全員に対して周知することで、育児休業を取得しやすい職場づくりを推進した。
 - ・男性社員の育児休業取得は1人、女性社員の育児休業取得率は100%となった。

- 目標2
- ・社内イントラに会社が子育てサポート企業に認定されていることを掲載し、全社員に周知した。
 - ・社員全員に対して、環境改善アンケートを実施し、現状と課題を把握した。
 - ・子を保育所に送迎している社員の要望等を考慮して、1日の所定就業時間を8時間から7時間45分に短縮した。

- 目標3
- ・労働時間(時間外勤務状況)の分析を実施した。
 - ・毎週月・水曜日、給与支給日(25日)、賞与(年2回)支給日の全社一斉退社日の取組継続を推進することで、残業実績(月平均)は平成25年度月平均8.4時間から平成28年度6.6時間となった。
 - ・年次有給休暇の年間平均取得日数を12日とする目標をたて、各部門から四半期毎に3日間の年次有給休暇取得計画を報告させた。また、取得が伸びない部門には部門別一斉年次有給休暇取得日を設定することで、年次有給休暇取得日数実績は平成25年度11.2日から平成28年度12.7日となった。

◎ その他の取組状況

- ・小学校就学前の子をもつ社員に対し、所定外労働勤務の免除を実施している。(正規社員は小学校6年生まで利用可。)
- ・正規社員は子の看護休暇が小学校6年生まで利用可、育児短時間勤務制度・時間外労働の制限制度・深夜業の制限制度が小学校3年生まで利用可。
- ・出産した女性のうち、子が1歳誕生日までの継続就業率は100%となっている。

企業からのひとこと

○ 行動計画に基づく取組に当たって工夫した点

当社では、社員一人ひとりが働きやすい環境をつくることによって、社員がその能力を十分に発揮できるような職場づくりを推進しています。

工場の改革／改善を見出す仕組みをつくり、ライフステージが変化しても継続的に活躍できるよう取り組んでいます。

また、これからも社員一人ひとりが自己成長できるようキャリア開発をサポートします。

○ 行動計画に基づく取組の効果・課題

[効果]

・ノー残業デーの取組み推進を継続した結果、所定外労働時間について行動計画開始前(2013年度)と行動計画終了時(2016年度)を比較すると21%減少しました。

・工場改革活動WGを発足し、女性が活躍できる場を設けています。

職場環境だけでなく、福利厚生面等における困りごとを問題として共有、改善を繰り返すことで業務改善や作業能率の向上を図り、社員の満足度向上へと繋げています。

更に魅力ある工場づくりを実現することで雇用の継続にも発展しています。

- ・工場全体での一斉年次休暇取得は困難であるため、部門単位での取得を設定し休暇取得推進を図ったことで取得率が向上しています。

[課題]

- ・ライフステージの変化での退職者を防ぐため、工場としての在宅勤務の仕組みづくりを行い働き方の多様化に応えることを進めていきたいと考えています。

○ 育児休業を取得した男性社員の声

(製造部・35歳)

2人の育児で不安と疲れ気味の妻を少しでも助けることが出来たらと思い、また仕事復帰をスムーズに迎えられるよう、妻の復職直前に取得しました。

妻は気持ちを切り替え、スムーズに職場復帰することができました。

何より、短い期間でしたが育児に専念できる良い機会になりました。